

広報部会会員による 就業現場レポート (第9回)

シルバーパワーで“快適住居のお助け隊”家事援助サービス

家事援助サービスとは

R3年度実績 受注件数695件、就業会員120人(男性44人・女性76人)、年齢61～88歳(平均75.2歳)

主な仕事内容 家庭内清掃、草取り、ゴミ出し、家具の移動、食事作り、外出付き添い、話し相手等

主な特徴

- 清掃は、原則利用者宅にある清掃道具や洗剤類を使用する。
- 身体に触れるサービス(介護や介助)や子どもを預かるサービス(保育)は出来ない
- 高所作業等や修理(特に水回り)の仕事は出来ない



子育て世代から90代まで。利用者からの信頼も厚く、リピーター続出のお二人に話を伺いました。

Q.1 この仕事を始めたきっかけを教えてください。

退職してずっと家にいるのが嫌で、何かちょっとお手伝いできればと思い入会しました。親の介護をしていたので、家事援助の仕事に興味があり、応募してみました。声かけ訪問もやっています。

前職を70歳で辞め、孫の世話をしていました。その後、町会長さんがセンターの会員だったことがきっかけで入会しました。家事援助を紹介されたのでやってみることにしました。



Q.2 この仕事をやっていて良かったと思う点や、逆に困ったこと・嫌な経験はありますか？

みんなの喜ぶ顔・元気な顔を見たら「良かったな」と思えます。今まで特に困ったことはないですね。

私もお客さんが喜んでくれることが嬉しいです。あと(慣れて親しくなると)割と言いたいことも言えるし(笑)。ただおしゃべりな方が多いです。仕事の途中にお話しになる方がいらっしゃるので、それで作業が止まってしまうことがあります。嫌だと思ったことはないです。

Q.3 仕事をする上で気を付けていることはありますか？

お客様がテレビを見ている時は、掃除機を使わずに掃除しています。また、最近事故が多いので、自転車は特に気を付けています。必ず時間に余裕を持って行くようにしています。

視覚障害者の方のお宅の清掃も担当しています。その方は、家の中のどこに何があるのかを大体記憶されているので、掃除後は、元あったところに物を戻すよう気を付けています。



Q.4 この仕事(家事援助サービス)はどういう人に向いていると思いますか？

元気はつらつな方。

おしゃべりをこちらから先にしない方が良いですね。(一同、笑)

Q.5 これからやってみたいという会員の皆さんに「こうしたら良いよ」といったメッセージはありますか？

依頼内容をよく確認してから作業すると良いと思います。あと無理しないで、自分の範囲内でやることです。できない仕事や危ない内容と判断したら、事務局に相談してください。

インタビューをして、家事援助の仕事の大変さと高齢者にとって重要な役割を持っていることが分かりました。お二人の仕事に対する姿勢が立派で、何よりご自身も楽しそうに？している様に思いました。これからさらに仕事が増えるだろうと思います。体力とお客様への心遣いがポイントかと思いました。

(広報部会会員：)